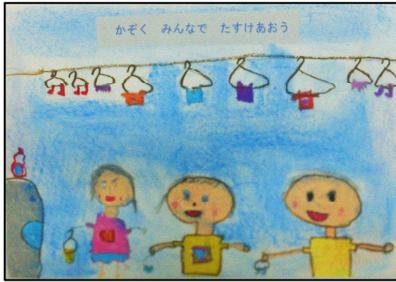


「男女でつくる元気な和歌山」ポスターコンクール 優秀賞作品

☆ 小学生低学年の部



もりもと りん
森本 凜 さん

(和歌山市立高松小学校1年)

かぞくで、せんたくものをほ
しています。



おちあい もか
落合 萌朱 さん

(有田市立保田小学校2年)

男の子も女の子も、みんなえ
がおで元気に学び、共に学び
ながら成長していきたいと思
ったのでかきました。



おちあい りの
落合 莉望 さん

(有田市立保田小学校3年)

男の子とか女の子とか関係な
く、手をとりあって協力しな
がら、元気な和歌山をつっ
てほしいと願いかきました。

☆ 小学生高学年の部



うめもと あつき
梅本 篤希 さん

(和歌山市立川永小学校6年)

空や地面の色づかいに気をつ
けて描きました。犬を描くの
がむずかしかったです。



ほしづめ さな
橋詰 紗奈 さん

(和歌山市立川永小学校6年)

自分が目立たせたい所をしっ
かり目立つように色あいを気
をつけました。



かじもと あやの
梶本 綾乃 さん

(和歌山市立吹上小学校6年)

性別の差別がなくなればいい
と思って描きました。

☆ 中学生の部



宮本 遼 さん

(田辺市立高雄中学校1年)

男だとか女だとかにとらわれない、ましてやはだの色や住んでいる地域によって差別されない世界になってほしいと思って描きました。



前田 萌乃香 さん

(岩出市立岩出中学校3年)

男の人の力も、女の人の力もおなじで、男と女の間には線を引いて、意地張ってないで、2人あわせて、男も女も仲よくして欲しい思いでかきました。50%の力が合わされば100%になりますから。



和田 夏穂 さん

(和歌山市立貴志中学校3年)

性別にかかわらず、手を取り合っている所を意識して描きました。また、好きな色を着ても良いことも合わせて描きました。

☆ 高校生の部



田中 木乃春 さん

(県立橋本高等学校2年)

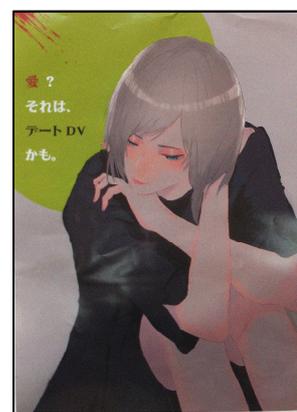
社会の中で決められ、今なお残っている、男女という性にとらわれず、誰もが活躍できる「羽ばたける」社会になってほしいというメッセージを込めました。



今村 夢月 さん

(和歌山市立和歌山高等学校2年)

男女の社会上での立場だけではなく、男だからこうあるべき、女だからこうあるべきという、昔からある風潮も見直してほしいという気持ちを込めて描きました。



山本 葉陽 さん

(和歌山市立和歌山高等学校2年)

愛情表現も一歩まちがえればDVになってしまうことを伝えたくてです。ポスターになると色味が暗くなってしまっていたことが残念でした。